

校長室から その2

香川県立石田高等学校のホームページにアクセスしていただき、ありがとうございます。

長かった残暑も一段落し、ようやく秋らしさを感じられるようになりました。6月の通常授業再開以降、引き続き新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら学校生活を営んでいます。

今日は、国語科教員が中心となって取り組んでいる「石高短歌」を紹介します。本校では、3年生の国語の授業で、実習などの体験から自分の心が揺れた瞬間を三十一文字（みそひともじ）に凝縮して表現する短歌の指導に取り組んでいます。今年もたくさんの力作が生まれたので、その中から四首を紹介します。

休校明け友達に会えてうれしいがマスク生活苦しい辛い

果樹園で春夏秋冬果物が実り実って収穫盛ん

実習服にセメントで出来た染み跡は土木で学んだ私の軌跡

あみぐるみ初めにねずみ編んでみた鼻間違えてコアラに見える

いずれの作品も、生徒たちの率直さとみずみずしい感性が感じられ、笑ったり考えさせられたりしました。地に足の付いた教育を実践している本校だからこそ生み出された名作です。

11月7日（土）10:30～13:00、石高祭を一般公開します。ご来場の皆様には、マスクの着用、入口での検温（37.5℃未満の確認）、行列の際のソーシャル・ディスタンスの確保など、感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

令和2年10月

香川県立石田高等学校

校長 北堀 礼子